

最後までやりきる「菩っこ」を育てる校内持久走大会



発走直前、多くのギャラリーに見守られながら、**自信**と裏腹に**緊張**に震える子、完走に**不安**を感じる子、さまざまな思惑がスタートラインに並びます。号砲とともに走り出した子どもたちは、もう後戻りできずに持てる**全力**でゴールをめざしました。「自分のめあてを達成したい。」と「歩調を緩めて**楽しい**。」との狭間で、一人ひとりが**自分はどう行動するのかの自己決定**に迫られます。

上位でゴールする子たちの**見事な走り**も、最後まで**投げださず誰よりも時間をかけて**ゴールした子たちの**気持ちの強さ**も、そうした友だちの**頑張りに声援を送る多くの仲間**の姿も輝いて見えた行事でした。走路員としてお手伝いいただいた「**菩っこを育てる会**」ボランティアの皆さん、応援に駆け付けた**保護者の皆さんの支え**で子どもたちは一つ成長しました。

12月2日(水)快晴の下、今年も菩提寺小学校**持久走大会**を開催しました。長い距離を走るのは、誰にとっても**つらいこと**です。誰もが得意というわけでもありません。けれども、本校が長年この行事を続けてきているのは、子どもたちに「誰より速いとか、遅いとか…ではなく、**昨日の自分の記録**や誰の心にもあるしんどいことから逃げたい**弱い自分との闘い**」を通して、やりきることができた**自分を経験**してほしいからです。



ありがとうございます!



本校運動場南西の**裏山**は、子どもたちの**大好きなスポット**の一つです。しかし、土質と傾斜の強さから、**木が生えにくい部分**ができて

しまい、雨が降るたびに砂が運動場側に**流出**して困っていました。そこで、菩提寺地域の皆さんで組織されている「**きずな会**」さんに、相談したところ、11月29日(日)**砂防工事**をしてくださいました。大変**足場の悪い場所**で、掘削、杭打ち、板留め、土のう積み等、見事な作業で**砂防柵**をつくって、見違えるような状態に頂きました。



PTAの活動方針「あいさつでつながる未来 輝く笑顔は菩小から」を推進する事業**あいさつ運動**の一環で、全校児童一人ひとり**オリジナルの缶バッジ**を製作しました。バッジの図案は、それぞれ**親子で**相談しながら描いたもので、活動を通して「あいさつ」について話し合っていたことが、子どもたちの**意識を育てることにつながった**のではないかと考えています。

PTAで缶バッジ